

弓達 秀樹 議員



一問一答方式

- ① 子どもの医療費
- ② 保育所の職場環境
- ③ 小中学校
- ④ 民生委員のなり手不足
- ⑤ 大洲まちづくりファンド

子どもの医療費について

問 県と松山市では、本年1月から中学生までの医療費が無料化となった。それに次いで、宇和島市でも、令和3年度から中学生まで無料化する方針が示された。

自主財源の乏しい本市でも、近隣の動向により、中学生までの無料化を迫られる可能性が十分考えられるが、子ども医療費についてどのような

な考えを持っているか。

答 子ども医療費については、私の

公約の子育て支援の充実においても大切な施策の一つと位置づけています。今回策定する第2期大洲市まち・ひと・しごと創生総合戦略にも、子ども医療費助成事業の充実を盛り込み、令和3年4月を目途に医療費無料化の実施に向け、具体的な検証作業を進めることとしました。

財源確保や事業の優先順位を総合的に勘案し検討していたところ、宇和島市は令和3年度から無料化する方針を出され、八幡浜市は令和3年度からの無料化実施に向け検討すると発表しました。このような情勢の変化もあり、改めて無料化の実施に必要な財源の確保に加え、市民や関係機関等への周知など、具体的な検証作業を進めることとしたものです。

なお、子ども医療費助成事業は、国の社会保障制度の中で全国一律に取り組みべき課題と考えています。将来にわたり持続的、安定的な制度の運営を図る観点からも、全国市長会等を通じ、今後も国に対し要望したいと考えています。

保育所の職場環境について

問 大洲市で保育士をしたい、続けたいと思えるような保育士さんの働く職場環境や処遇改善は必須とこれまで質問してきた。

正規職員に求められる提出書類の多さを解消するための電子化や時間短縮、簡素化はその後図られているのか。

答 電子化などへの対応には、ICT化も検討を進めており、保育士の事務負担軽減につながるかどうか、来年度開園予定の東大洲こども園で試行運用を行い、システムを見極めたいと考えています。

なお、施設に配置のコピー機を最新の複合機への更新やパソコンの追加配置による事務の効率化に取り組むとともに、勤務時間内に事務処理が完了できるよう、非常勤職員を雇用して職場の環境改善に努めています。

民生委員のなり手不足について

問 市内中心部でも、民生委員のなり手不足が深刻化している。民生委員さんに託された仕事は、社会

環境の変化とともに多様化の一途をたどり、ひきこもりや孤独死、子供の貧困や虐待などの新たな社会問題にも対応せざるを得ない状況となっている。民生委員さんが抱え切れない課題を各地域でサポートしていくような負担軽減策を考えていただけないか。

答 民生児童委員のなり手不足を解消し、将来にわたり民生児童委員制度をつないでいくためには、民生児童委員をサポートする体制づくりが重要と考えています。まずは、各地区の民生児童委員協議会定例会の中で、委員間の情報共有や活動方針の確認、合意形成を進めるとともに、地域の関係団体との連携をさらに強め、民生児童委員が1人で課題を抱え込まないように、組織としての対応をお願いしたいと考えています。

また、地域だけで解決に至らない課題は、地域支え合いセンターや障がい者基幹相談支援センター、地域包括支援センターなど専門の相談機関につないでいただき、行政を中心として社会福祉協議会など関係団体と重層的な対応を進めていきたいと考えています。